

予算常任委員会会議録

1 開会日時 令和5年3月13日（月）午前10時0分

2 閉会日時 令和5年3月13日（月）午後1時15分

3 会議場所 熊山支所大会議室

4 出席委員

1 番 牛尾 直人君	2 番 鼻岡 美保君	3 番 安藤 利博君
4 番 永徳 省二君	5 番 大森 進次君	6 番 佐藤 武君
7 番 佐々木雄司君	8 番 光成 良充君	9 番 保田 守君
10 番 大口 浩志君	11 番 治徳 義明君	12 番 原田 素代君
13 番 金谷 文則君	14 番 松田 勲君	15 番 福木 京子君
16 番 佐藤 武文君	17 番 下山 哲司君	

5 欠席委員

な し

6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君	副 市 長 前田 正之君
教 育 長 土井原康文君	市民生活部長 杉原 洋二君
保健福祉部長兼 介護保険課長 谷名菜穂子君	財 務 部 長 戸川 邦彦君
教 育 次 長 有馬 唯常君	赤坂支所長兼 市民生活課長 小坂 憲広君
熊山支所長兼 市民生活課長 矢部 恭英君	吉井支所長兼 市民生活課長 遠藤 健一君
市民課長兼 協働推進課長 稲生真由美君	環 境 課 長 安藤 伸一君
社会福祉課長 原田 光治君	子育て支援課長 和田美紀子君
健康増進課長 石原万輝子君	熊山診療所参事 川原 達也君
教育総務課長 金島 正樹君	学校教育課長 森本 治君
社会教育課長 西崎 雅彦君	中央公民館長 馬場 弘祥君
中央図書館長 森本 一也君	中央学校給食センター所長 矢部 寿君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 土井 常男君	副 参 事 逢坂紀美子君
---------------	--------------

8 審査又は調査事件について

- 1) 議第13号 令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）
- 2) 議第14号 令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 3) 議第15号 令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 4) 議第16号 令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 5) 議第17号 令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算

(第2号)

- 6) 議第18号 令和4年度赤磐市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 7) 議第19号 令和5年度赤磐市一般会計予算
- 8) 議第20号 令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計予算
- 9) 議第21号 令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算
- 10) 議第22号 令和5年度赤磐市介護保険特別会計予算
- 11) 議第23号 令和5年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算
- 12) 議第24号 令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算
- 13) 議第25号 令和5年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計予算
- 14) 議第26号 令和5年度赤磐市財産区特別会計予算
- 15) 議第27号 令和5年度赤磐市水道事業会計予算
- 16) 議第28号 令和5年度赤磐市下水道事業会計予算

午前10時0分 開会

○委員長（松田 勲君） 皆様、おはようございます。

ただいまから予算常任委員会を開会いたします。

説明、質疑の折は、ページ番号を言ってから発言をお願いします。明瞭簡潔に発言をお願いいたします。

なお、前回申しましたが、質疑につきましてはそれぞれの常任委員は所管部分に関しての質疑は原則行わないように申し合わせておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

また、換気のため、ドアの開放を行い、適宜休憩を取りたいと思いますので、皆様御協力をお願いします。

前回に続きまして、厚生文教常任委員会関係について本日は審査を行います。

なお、本日の審査でございますが、教育委員会の一部の説明員の公務が重なり、できれば教育委員会所管部分を先に審査してほしいと執行部から申出がありました。審査の順番を一部入れ替えますので、皆様よろしくお願いいたします。

まず初めに、議第13号から議第16号までの補正予算の審査を行い、次に議第19号令和5年度赤磐市一般会計については、先ほど申しました教育委員会所管部分を先に審査をいたしたいと思います。その後、議第19号令和5年度赤磐市一般会計予算の市民生活部と保健福祉部の所管部分の審査を行って、その後、議第20号からの特別会計予算を議案順に審査したいと思います。よろしくお願いいたします。

それではまず、議第13号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）について審査を行います。

議案書の57ページからタブレットのほうを御覧いただきたいと思います。57ページからです。

執行部から補足説明がありましたら、部ごとをお願いします。

なお、説明は、補正予算書及び説明資料のページ番号を必ず言うてから行うようにお願いします。また、ページを言った後は、間をできるだけ開けていただき、説明をお願いしたいと思います。

それでは、執行部からの説明ございますか。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） それでは、議第13号について補足説明を行います。

市民課、協働推進課については、補足説明はございません。環境課は、歳入について補足説明を行います。

予算書の20ページ、通し番号では76ページ、予算説明資料では8ページとなります。

18款2項2目物品売払収入603万2,000円の増、これは改修をした環境センターで、粗大ご

み、これを分別、破碎をし、木、プラスチック類、これを徹底的に取り除き、金属だけを抽出し、売却する際に有利な条件で売却するなどの取組を進めております。また、金属類の買取り価格の高騰などの原因と相重なって、当初予算を上回る結果となったことから、補正をするものでございます。今後も、こういった有利販売に努め、歳入確保に向けた取組を進めていきたいと考えております。

歳出について補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続けて説明をお願いします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

ページは少しゆっくり目をお願いします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 令和4年度の事業補正につきましては、社会福祉課、健康増進課、介護保険課がでございます。事業実績による不足分の補正や額の確定により補正するもので、事業内容については議場で御説明したとおりで、追加の説明はございません。どうぞよろしくをお願いします。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

それでは、続けて説明をお願いします。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 有馬教育次長。

○教育次長（有馬唯常君） 議第13号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）につきましては、本会議のほうで御説明申し上げておりますので、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございました。

執行部からの説明が終わりました。

それでは、歳入歳出について、全般について質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） ただいま冒頭、物品売払収入、説明書8ページの財産売払収入、物品売払収入の補正が603万2,000円という説明がありました。

この件について、よく市民の方から、町内会とかいろんな団体に対してリサイクル回収をいろいろ協力をお願いしてるということの中で、売払収入がどれだけ上がっているのか、市民の目に見えてこないんですけど、どれくらい市のほうは収入があるんだろうかなというような御

指摘があります。そうした中で、非常にリサイクル活動には市としても取り組んでいただいているとは思いますが、市民の御協力をいただいているということも含めて、どれだけリサイクル収入が上がっているかというのを市民の方へ周知する必要があるんじゃないかなと、より協力を求めるにはそれが必要ではないかなというふうに思いますので、周知の方法、それから今後のリサイクルのより一層の進め方が求められると思いますけれども、その取組について併せてお考えがあればお聞かせください。

○委員長（松田 勲君） 答弁求めます。

○環境課長（安藤伸一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤環境課長。

○環境課長（安藤伸一君） ありがとうございます。

ごみの減量化の取組についてでございますが、まだまだPRが足りない部分があるのかと思います。

売上金についてですが、年間大体100万円から120万円程度の販売収入がございます。

それから、今後のPRについてでございますが、現場職員全員でアイデアを出し合って、減量化の取組を進めております。環境センターやリサイクルプラザでの取組の紹介など、折に触れまして広報紙、ホームページなどでPRしていきたいと思います。これによって市民のごみ減量化に対する意識の醸成、3Rの推進に一層努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員、よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい、いいです。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 予算書で94ページ、説明書資料では20ページの史跡保存整備事業なんですけど。

○委員長（松田 勲君） 94ページ、予算書ですか。

○委員（安藤利博君） はい、予算書94ページで説明資料が20ページの文化財保護費なんですけど、これは予算で2,300万円ぐらい上がったのが900万円減額補正されてるんですけど、多分これは両宮山の墳丘裾の工事だと思うんですけど、多分予定どおりされてたと思うんですけど、これが減額になったというのは、県のほうの補助金が減額になったんで減額されたということでしょうか。その工事の中身については影響はなかったんでしょうか。そのあたりを教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 両宮山の墳丘裾の保存整備工事につきましては、今回、国庫の補助金の減額に伴いまして事業費の減額を行っているものでございます。

以上です。

○委員（安藤利博君） それによって、だから工事の中身、進捗とか……。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

ちゃんと手を挙げてお願いします。

○委員（安藤利博君） はい、すみません。

委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） それによって工事の中身の進捗、遅れがあったとか、そういった影響はなかったのでしょうか。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） この保存工事につきましては、国の財源をいただいて実施しております。当初計画しておりました延長につきましては当然減少という形になりますが、令和4年度につきましては約50メートルの進捗ということで、これはもう財源を確保するという部分で減額しております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） もう一点、繰越明許のほうもよろしいのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 繰越明許。何ページになるのかな。

○委員（安藤利博君） 説明資料のほうは64ページだと思うんです。

○委員長（松田 勲君） どうぞ。

○委員（安藤利博君） すいません、予算書のほうをメモしてなかったんで、説明資料のほうで見ていただければ、64ページだと思うんです。

例の赤坂ファミリー公園のテニス場、コート改修なんですけど、これが繰越明許になっているのは、入札が遅れたということなんですけど、これは入札自体をやってないのか、その辺の手続きはどのあたりまで進んでたのでしょうか。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） この赤坂ファミリー公園テニスコート改修工事関係につきましては、9月議会で補正をさせていただいた後、変更設計業務を行ってまいりました。変更設計業務終了の時点で、年度末までに適正な工期を確保することが困難な状況ということになりましたので、今回、繰越措置をさせていただいております。この繰越措置を認めていただいた後に、入札、工事ということで予定をしております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい、もう一つ。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） これは市民の方から質問があったんですけど、多分総額で8,000万円か9,000万円あったと思うんです。それが、たしか照明灯とコート両方の金額だったと思うんですけど、ごめんなさい、正確な数字は覚えてない、多分半々、4,000万円ずつぐらいだったと記憶してるんですけど、これは指名入札でされてるんですよ、予定とすれば、違いましたか。こういった業者は、市内にはそんなにいないんじゃないかということで、一般入札のほうがいいんじゃないか、そのほうが金額的にも安くできるんじゃないかというふうな指摘があったんですけど。

例として、鏡野町が4面改修してるのが、3,000万円ぐらいでできてます。それから、水戸市の運動公園が、12面改修してるのが6,000万円ぐらいでできてます。文科省のホームページに載ってたんですけど、4面で四、五千万円というのは、いささか高過ぎるんじゃないかと思うことを指摘、教えていただいたんですけど、9月議会のときにはその見積りとかいろいろ見て、これで妥当なんだという御説明があったんですけど、その辺はいかがですか。その金額とそれと一般入札あるいは指名入札の判断といたしますか、その辺、補足いただければと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁できますか。大丈夫ですか。

安藤委員、これは繰越明許なんで、今する話ではないとは思いますが。

○委員（安藤利博君） 市民からそういった御指摘があったんで。これは後でまた教えてください。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、続いて議第14号令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について審査を行います。

議案書は、97ページからです。説明資料は、26ページからです。

執行部のほうから補足説明がございましたらお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 議第14号についてでございます。

事業勘定、熊山診療施設勘定、佐伯北・是里診療施設勘定、3勘定ともに、本会議場で細部説明のとおり、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部のほうから説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続いて、議第15号令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について審査を行います。

議案書は、133ページからです。説明資料は、40ページからです。

執行部のほうから補足説明ございましたらよろしくお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 議第15号につきましても、本会議場で細部説明のとおり、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部のほうから説明が終わりました。

質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第16号令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第3号）について審査を行います。

議案書は145ページから、説明資料は46ページからです。

執行部からの補足説明ございましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 議第16号の介護保険特別会計補正予算につ

きましても、追加の補足説明はございませんので、よろしくお願いします。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部のほうから説明が終わりましたが、質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

それでは続いて、第19号令和5年度赤磐市一般会計予算の先ほど申しました教育委員会の所管部分について審査を行います。

執行部から補足説明がありましたらお願いします。

なお説明は、予算書及び説明資料のページを言ってから行うようにお願いします。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 有馬教育次長。

○教育次長（有馬唯常君） それでは、議第19号令和5年度赤磐市一般会計予算について補足説明をさせていただきます。

教育委員会に関係する歳入の予算につきましては、予算書のほうで補足説明をさせていただきます。

まず、予算書26ページを御覧ください。予算説明資料は、10ページからとなりますので、必要に応じて御覧いただけたらと思います。

15款使用料及び手数料、1項使用料、7目教育使用料で主なものは、4節社会教育使用料の公民館使用料、5節保健体育使用料の市内体育施設等の使用料でございます。

次に、34ページをお願いします。

16款国庫支出金、2項国庫補助金、7目教育費国庫補助金で4節社会教育費補助金の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金は、両宮山古墳墳丘裾保存整備事業に対する補助金でございます。

次に、42ページをお願いします。

17款県支出金、2項県補助金、7目教育費県補助金では、1節小学校費補助金と2節中学校費補助金にありますが教師業務アシスタント配置事業補助金が主なものでございます。

次に、44ページをお願いします。

3項委託金、4目教育費委託金、1節教育費委託金の埋蔵文化財発掘調査委託金、これは斎富、南方地区の圃場整備事業に先立って行ってきました発掘調査成果の整理業務に対する県委託金でございます。

次に、54ページをお願いします。

23款市債、1項市債、8目過疎対策事業債、1節過疎対策事業債は、スクールバス運行業務などに対するものです。

以上が教育委員会関係の歳入の主なものでございます。

続きまして、教育委員会に關係する歳出の予算について補足説明をさせていただきます。

予算書は、180ページをお願いします。予算説明資料は、96ページからとなります。

教育費につきましては、B & G海洋センターの改修工事などが完了したことに伴い、前年度に比べて8.8%減の予算を見込んでおります。

10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費は、教育委員の報酬などでございます。

182ページをお願いします。

2目事務局費は、特別職、一般職の人件費のほか、184ページ、13節委託料にありますスクールバス運転業務委託料、ページ変わりまして186ページをお願いします。15節工事請負費では市内小中学校、幼稚園施設の改修工事などの費用を計上しております。

次に、188ページをお願いします。

2項小学校費は、市内12校の小学校児童2,464人に係る一般管理費、施設維持管理費及び教育振興費関係の費用でございます。

194ページをお願いします。

3項中学校費は、市内5校の中学校生徒1,121人に係る一般管理費、施設維持管理費及び教育振興費関係の費用でございます。

198ページをお願いします。

4項幼稚園費は、市内6園の園児248人に係る一般管理費、施設維持管理費及び教育振興費関係の費用でございます。

次に、202ページをお願いします。

5項社会教育費、1目社会教育総務費は、社会教育関係団体への補助、人権教育の推進、家庭教育事業、社会教育施設の管理に必要な経費などでございます。

206ページをお願いします。

2目公民館費は、中央公民館と基幹公民館3館、地区公民館4館、分館6館における各種主催講座の開催、公民館グループ活動の拠点としての施設管理などに必要な経費でございます。

210ページをお願いします。

3目図書館費は、中央図書館と地区館3館に係る施設の維持管理費と図書館の蔵書購入や読書活動の推進及び啓発に係る図書推進活動費などの経費でございます。

214ページをお願いします。

4目文化財保護費は、文化財の保護、保存、啓発、郷土資料館の管理運営、遺跡等の文化財、公有地の管理などの経費でございます。主なものは、216ページをお願いします。15節工事請負費の保存整備工事で、両宮山古墳墳丘裾保存整備工事に係る経費でございます。

218ページをお願いします。

6項保健体育費、1目保健体育総務費は、生涯スポーツ推進のための各種教室や大会、団体

育成事業、学校体育施設の開放事業などに係る経費でございます。

220ページをお願いします。

2目体育施設費は、山陽ふれあい公園など、体育施設の維持管理等に係る経費でございます。222ページをお願いします。主なものは、13節委託料にあります山陽ふれあい公園、吉井B&G海洋センター、グラウンド・ゴルフ場の指定管理に係る経費でございます。

3目学校給食費は、市内3か所の学校給食センターに係る運営、維持管理経費でございます。224ページをお願いします。13節委託料で、中央学校給食センターに係る調理業務等民間委託料を計上しております。こちらにつきましては、令和4年12月の定例議会におきまして債務負担行為補正をお願いした関連予算でございます。

以上、教育委員会に関係いたします歳出の補足説明とさせていただきます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明がございました。

これから質疑を受けたいと思います。

なお、歳入につきましては、歳出との関連で質疑していただければと思います。

それでは、10款教育費について質疑を受けたいと思います。

予算書は180ページから227ページ、予算説明資料は96ページから137ページでございます。よろしく願いいたします。

それでは、質疑ありませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明書のほうで98ページ、先ほどの御説明の中にあって漏らしとったらごめんなさい、ALTの費用が増になってるのは、単純に人の数が増えてという理解でいいんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金島教育総務課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 外国語指導助手配置事業の予算でございます。

こちらのほう、昨年9月の議会において債務負担行為として予算計上させていただいております。そのときの予算をこちらのほうに計上させていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 令和4年度と令和5年度では人数の変更はあるんでしょうか。もしあるのであれば、どこへ増えるということで御説明ください。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金島教育総務課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 人数については、令和4年度と同じ人数で、9人の予算で計上しております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 確認をさせていただきたいんですけども、東京オリンピックの事前キャンプで、カナダ男子チームだとかニュージーランドの女子ホッケーチームと事前キャンプを成功させまして、今後とも子供たちとの交流を進めていくんだというような御答弁が何度もあるんですけども、この予算にはどのように反映されてるのでしょうか。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） スポーツ交流事業につきましては、令和5年度国際交流試合市民交流事業ということと、ユースホッケー交流試合、それからオリンピックとの交流事業ということで、大きな3本柱で計上させていただいております。

予算につきましては、予算書の218ページ、10款教育費、6項保健体育費、1目保健体育総務費におきまして、それぞれ計上させていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 予算書の223ページですが、それぞれ指定管理料が計上されてます。

この中で、当然、光熱費等がアップしてる部分は予算に含まれてると思うんですけども、特に山陽ふれあい公園に限定してお尋ねしたいと思いますけれども、9,670万8,000円の委託料が計上されております。これは、前年度に比べてどれぐらいのアップで見込まれてるのか、アップ率が分かれば教えてください。特に金額が大きい部分でお尋ねしたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 予算説明資料の134ページをお願いできたらと思います。

2目体育施設費、009体育施設一般管理費、こちらが先ほど申しました山陽ふれあい公園、吉井B&G海洋センター、グラウンド・ゴルフ場の指定管理を計上しているものでございます。事業の総額につきましては、前年比100万円ほどの減額となっております。こちらにつきましては、山陽ふれあい公園につきましては5年間の指定管理ということでございますが、企画提案の時点で年度ごとの収支、これを計算した上で、だんだんだんだん指定管理料が安くなるというような御提案をいただいておりますので、前年度に比べて100万円ほど安くなっております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 中学校費で予算書197ページ、プールの機械保守点検委託料となつてんですけど、吉井中学校の新設をしてから、実績の報告をお願いしたい。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金島教育総務課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 吉井中学校においては、昨年度はプールの授業を普通に実施して使っております。それより以前は、コロナ禍の中でプールの授業を中止にしておいたような状況でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 実績ですから、何人使用したかというような。

○委員長（松田 勲君） 答弁できますか。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金島教育総務課長。

○教育総務課長（金島正樹君） すいません。

その人数については、今、手元のほうに資料ございません。申し訳ございません。後ほど報告させていただければと思います。

○委員（下山哲司君） 結構です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の100ページの生徒指導総合実践事業の中の会計年度任用職員、これは学校相談員、それから不登校・教育相談支援員、訪問カウンセラーとあるんですけど、これはそれぞれ何人ずつぐらいなのでしょう。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○学校教育課長（森本 治君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本学校教育課長。

○学校教育課長（森本 治君） 生徒指導総合実践事業の会計年度任用職員の人数等でございます。

学校相談員につきましては1名でございます。それから、不登校・教育相談支援員につきましては、中学校が10名計上しております。それから、小学校につきましては、7名を計上させていただいております。それから、訪問カウンセラーにつきましては、特別な急遽対応するような場合にカウンセラーを任用するということで、2名分ということで計上させていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 生徒への指導とか相談もさることなんですが、これは9月ぐらいで質問させていただいたんですけど、不登校の子供のお父さんが『「とりあえずビール。」で、不登校を解決する』という本を出されてるんですけど、これは不登校の……。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、すいません。

○委員（安藤利博君） いや、だから、不登校の子供の保護者、お父さんに対してのこれは本なんですけど、その子供じゃなくて、不登校の子供に対応するのは本人より保護者、これの対応が間違えてるケースが多いんで、子供が行けないのに無理やり行けというのは、これは逆効果なので、その保護者のほうのそういった相談、指導というか、それが非常に大事だと思ってるんですけど、それはこの中ではどういった方が担当されるのでしょうか。

○学校教育課長（森本 治君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本学校教育課長。

○学校教育課長（森本 治君） その保護者への相談といいますか、対応というところにつきましては、学校相談員が中心になります。学校相談員というのは、学校教育課のほうへ所属し

ておりまして、元教頭先生をされてた方に今お願いをしているというところです。その学校現場での経験を生かして、保護者等から相談を受けた場合には、この学校相談員がそこに入って、相談に乗ったり御助言したりというふうなことを想定しております。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明資料で100ページなんですけど、通学費の補助が対前年度でイコールなんですけど、ここで来年度から対象範囲を広げていただいていると思うんですけど、残念ながら、広げてても子供の数がそれ以上に減ったからこういう予算になっているという理解でいいんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金島教育総務課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 高等学校等通学費補助事業の予算でございます。

こちらは、令和5年4月から赤坂地域の石相地区において、南行きについても一応対象としております。予算については、実績において、今まで約二百四、五十万円、予算のほうを執行しております。こちらの予算で一応、当初計上しておいて、状況に応じて、これ以上増えそうな予定でしたら、また補正予算等で対応を考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 大口委員、よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 予算書の214ページ、215ページの図書館費について確認をさせてください。

図書館費の図書消毒機借上料が7万3,000円ということになってるんですけども、記憶違いだったらごめんなさい。前々回、前回に比べて、何か物すごく安くなってるような気がするんです。今の図書館に対する図書消毒機の設置具合も併せて御答弁をお願いします。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○中央図書館長（森本一也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本中央図書館長。

○中央図書館長（森本一也君） 令和5年度の図書消毒機の借り上げにつきましては、リース

が途中で終わります。令和5年6月までで現在使ってるものはリースが終わるので、予算としては安くなっております。令和4年の補正予算で、次の機械については新規で備品で購入をしております。それから、利用実績ですが、平均的に言いますと、月に450回程度の利用が今あります。

以上です。

○委員（治徳義明君） 分かりました。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

他にございませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の126ページの読書公園なんですけど、大苅田池のところの、ここは修繕費2万円上がってるんですけど、御承知のように、あれは外のテラス、もう腐って出られない、多分ドアを閉め切ってると思うんですけど、あれはもうそろそろ修繕していただいたほうがいいんじゃないかと思うのと、それと使用料なんですけど、ほかの公民館は大体1時間300円だと思うんですけど、ここだけ、私も1回使わせていただいたことがあるんですけど、たしか1,000円もしたと思うんです。これは、赤坂町時代からの引継ぎかも分からないんですけど、ほかの公民館施設とのバランスといいますか、その辺の見直しというのはできないんでしょうか。これは、もし300円とかになれば、多分あれはほとんど使われてないと思うんで、もったいない。非常にいい場所にあって、多分月曜日ぐらいは何かグループが使われていますけど、それ以外は、この前アトラリーとかされてましたけど、単発的な利用だと思うんで、非常にもったいないんで、少々料金を下げても、もっと使っていただいたほうが市の施設の価値としては上がるんじゃないかと思うんですけど、その辺、いかがでしょうか。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） ありがとうございます。

修繕料につきましては、今現在テラスの補修については考えておりませんで、計上できておりません。今後の使用状況等も踏まえまして、検討してまいりたいと思います。また、使用料につきましても、検討してまいりたいと思います。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（安藤利博君） もう一点、別で。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の132ページの文化財公有地管理委託事業の国分寺の草刈り

なんですけど、これは資料館の方にお聞きしたら、史跡の範囲内について、国分寺でいえば、馬屋地区に草刈りをお願いしてるということなんですけど、4,500平米ぐらいある史跡の範囲内を馬屋の、たしか二百数十戸しかないと思うんですけど、これに委託されるというのは、僕らの話なんですけど、大変だと思うんです。

それで、私はこの前の一般質問でもさせていただきましたけど、やり方として、芝生にしておけばそんなに手間がかからない。芝刈りは必要なんですけど、例の鳥取方式の芝を一遍張れば、あとは芝刈り、面倒であれば、例えば後樂園なんかで、今頃ですかね、もうじきですか、芝焼きしてます、すれば、そんなに手間はかからなくて整備できるんじゃないかなと。

今の状態だと、200万円もかけて草刈りをお願いしても、されてるんだと思うんですけど、この前一般質問させていただいたように非常にもう雑草ぼうぼうなんで、史跡とすればもったいないんで、その中身のやり方を予算は予算として御検討いただけないかなと思います。地区のほうの負担も軽くなるんじゃないかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） ありがとうございます。

備前国分寺の草刈りにつきましては、現在2.5回分ぐらいの回数で草刈りをお願いしております。この0.5回というのが、最後の1回は道沿いにということで管理をしているところでございます。この管理につきましては、地元の皆様に文化財に対する愛着や親しみを持っていただくということで、地元のほうに管理をお願いしているところでございます。先ほどの委員おっしゃられた今後の整備と維持管理ということになってまいります、そちらにつきましては検討してまいりたいと思います。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明資料で126ページ、地域未来塾推進事業。

概要を読ませていただくと、金額は少ないですけど大事な取組かなと思うんですが、ここですくですけど予算が増えとるようなんですけど、今年度に比べて来年度はこういうことをプラスしていこうってことなんだと思いますけど、事業内容と令和5年度の取組を教えてください。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 地域未来塾につきましては、地域の中学生、高校生を対象とした学習支援を通して、社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を涵養するということで実施しております。具体的には、現在、仁美地域で平成30年度から教室を行っております。令

和5年度につきましては、新たに笹岡地域で開設ということで、この2教室分の経費を計上しているところでございます。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 具体的には、場所は小学校という理解でいいんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） すみません、具体的にあれなんですけれども、現在コロナ禍の関係もありまして、例えばウェブでつないだりというような試みもやっております。それから、それぞれの地域の集会所等で開催をしていると思っております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明資料で132ページです。予算書でいうと219ページ。

日本遺産の関係なんですけど、まず予算書の金額と説明資料の金額が違うのはどう理解すればいいのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 日本遺産の経費につきましては、先ほどの予算書の218ページの上段の上から3段目、76万7,000円を御覧いただいてるかと思いますが、そのほかに事業用消耗品ということで5万8,000円計上させていただいておりますので、合わせて82万5,000円ということで計上させていただいております。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） それと、もしこれが大きく動くようになれば、予算の増額の依頼が来るのかなと想像するんですが、まずこれは、事務局を持っておられるのは岡山市という理解でいいんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 現在の事務局は、岡山市でございます。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） そこから決算報告とかはもらってるんですか。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） はい。それぞれの協議会におきまして、予算の計画、実績報告、決算書ということで資料はいただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 同じく132ページで、資料館運営事業の関係なんですけど、この間も皆さんニュースで見られたことがあるかと思いますが、うさぎ年に絡んで、学芸員の方々が神社等へ足を運んで、いろんな写真を撮って展示をされてたようなのがニュースになっていましたが、あれをいつときだけではもったいないので、本格的なアーカイブとしての整備はなかなか難しいでしょうけど、取りあえずはデジタル保存とかはできるような予算もあつたほうがいいのかなと、あれに限らずですけど、その部分に関してはいかがなんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） ありがとうございます。

資料館につきましては、年に数回、企画展ということで開催をしているところでございます。委員御指摘のそういった部分につきましても、今後検討してまいりたいと思います。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の多分134ページになると思います。

令和5年度当初予算案の概要のほうで一番最後に、吉井グラウンドそれから熊山運動公園の

テニスコート照明改修設計業務とあるんですけど、347万1,000円、これがこっちの説明資料のほうに出てこないんですけど、委託料とか工事請負費とか、その中に入ってるということでよろしいでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 吉井グラウンドの照明改修、熊山運動公園のテニスコートの照明の改修ということにつきましては、設計の委託料ということで計上をさせていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 分かりました。その委託料の1,177万円の中ということですね。

関連してですけど、その先ほど繰越明許にあった赤坂のテニスコートの改修もさることなんですけど、熊山のテニスコートもほぼ赤坂と同じぐらいの傷みようなんですけど、こちらのほうの改修予定はここには入ってないんですけど、予定にも入ってないんでしょうか。使われている方からすれば、こちらのほうがひどいよという声も聞いているんで、赤坂のほうは過疎債のほうが使えたんでやられたんだと思うんですけど、熊山のほうのテニスコートの改修予定はないんでしょうか。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） ありがとうございます。

熊山のテニスコートにつきましても、今、継ぎはぎを、補修をしながらということで、現状につきましては認識をしているところでございます。今回、令和5年度におきまして予算を計上させていただいておりますのは、まず照明LED化ということで、これは水銀灯等の部品もなくなっている状況がございますので、ということで照明ということで優先的に行っております。テニスコートにつきましても、当然、その財源等を確保しながら整備してまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 説明書の124ページですが、永瀬清子の里づくり事業ということで、残念ながら前年度に比べて157万2,000円の減額となってるんですが、この減額の大きな理由というものを教えていただきたいのと同時に、先般、山陽新聞にも出てました学芸員の方の永瀬清子さんの詩に対する熱い思いを持って今取り組んでいるというような記事も拝見したんですが、翌年度の事業の取組はどのようにされるのか、赤磐市の文化芸術向上のために、この永瀬清子さんの顕彰というのは非常に大事な事業だと思いますけれども、令和5年度の取組について教えていただきたいと思います。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） それでは、説明資料の124ページ、008永瀬清子の里づくり事業でございますが、令和4年度と比べまして事業費のほうは157万2,000円ほど減額となっております。こちらにつきましては、令和4年度におきまして偉人漫画の300万円の助成をいただいたその費用がなくなっておりますので、減額ということになっております。

令和5年度の予算につきましては、それで委託料のほうで増額をさせていただいております。こちらにつきましては、朗読会永瀬清子の詩の世界を開催してございますが、こちらの動画配信を今予定しておりまして、この分拡充ということで計画をしているところでございます。

以上です。

○委員（佐藤 武君） ありがとうございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 説明資料の130ページ、131ページ、図書館費について1点確認をさせていただきます。

図書推進活動の中の子育て支援ブックスタート事業でございますけれども、私の記憶では、旧山陽町時代にやってたのを赤磐市になってしばらく中止していて、何年か前か忘れちゃったけど、復活をされてるんですけども、私は個人的には物すごく重要な取組だと思ってます。全国的にはセカンドスタートだとかサードスタートまでやるような自治体もある中、重要な取組だと思ってんですけども、具体的にこの事業の予算と、実際にどういうふうな形で子供に、赤ちゃんにお届けしてるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○中央図書館長（森本一也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本中央図書館長。

○中央図書館長（森本一也君） 子育て支援ブックスタート事業のその進め方の質問だと思うんですけど、赤ちゃんの3か月健診のときに図書館の司書がその会場へ出向きまして、そこでお配りをしているものです。

○委員長（松田 勲君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 予算的にはどのぐらいの規模なんですか。

○中央図書館長（森本一也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本中央図書館長。

○中央図書館長（森本一也君） 予算としましては、46万8,600円、赤ちゃん300人分のセットを計上しております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） この項目っていう指摘ができるところが探せなかったんですけど、よろしいですか。

○委員長（松田 勲君） じゃあ、言ってみてください。

○委員（大口浩志君） というのが、小学校、中学校ともになんですけども、いわゆる県費での先生が来ていただいていると思うんですが、令和5年度予算においては、市費での先生はどれぐらいの人数を思われるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○学校教育課長（森本 治君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本学校教育課長。

○学校教育課長（森本 治君） 委員の御質問の市費の教員の人数ということでございますが、それではまず小学校のほうからになります。

小学校では、まず35人以下学級の弾力化対応ということで、5、6年の学級で市費の講師を配置するというので、来年度につきましては、山陽北小学校へ1名、桜が丘小学校に1名ということで、2名配置予定でございます。これは、常勤ということになります。それから、非常勤講師ということで配置のほうを進めていますけども、予算としては小学校のほうで非常勤講師として12名分計上させていただいております。それから、中学校費でございますけども、中学校費のほうで、非常勤講師として、予算書では17名計上させていただいております。ただ、これは、実際の配置につきましては、学校のいろんな状況等、人員配置等で変動することがございますので、一応予算書上ではそれだけの人数を計上させていただいております。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 年度当初の予定より、年度が進み出すと、病休であったりいろんなことで先生の数が足りなくて現場が大変御苦勞されとるというのは、ここ何年かで、学校教育課としてもいろんな御努力というか、いろいろやっと思われと思うので、もしあれでしたら、多めに予算を取っといっていて、年度途中ではなかなか新たな採用っていうのがしんどいというようなこともここ何年かお聞きしておりますので、その辺も含めて、いわゆる学校の先生の余裕っていう表現がいいのかどうか分かりませんが、つくってあげて、より病休とかにもならない前もっての施策と、手当という意味で、もし可能であれば、新年度早々にでも多め、多めにという表現がいいのかどうか分かりませんが、採用活動をしといっていて、令和5年度を何とか穏やかに過ごせたというようなことをお願いをする意図での御質問でございますので、御苦勞は多分すごくされとんだと想像しますが、その辺でひとつよろしく願いできたらと思います。

○委員長（松田 勲君） 要望ですか。

○委員（大口浩志君） はい、そうです。

○委員長（松田 勲君） 今お答えはできないですね。できますか。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 有馬教育次長。

○教育次長（有馬唯常君） 教育現場の御心配のほう、大変ありがたく思っております。このたび上げております予算で取りあえずスタートは切ってみたいとは思っておりますが、不測の事態が生じた場合には、また議会のほうにそうした予算をお願いすることがあろうかと思います。その際には、またよろしく願いしたいと思っております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 予算説明資料の134ページです。

ホッケーとシーガルズの関係で、国際試合とかシーガルズのトップレベルのスポーツというところがあるんですけど、これは80万円減額になってるんですけど、ホッケーのほうで国際大会、あるいは去年は全日本大会になったんですけど、こういった大会というかを予定されてるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 国際交流試合につきましては、当面この大会というものはございせんけれども、日本代表等が強化合宿、そういった便を使いまして、それぞれ市民交流ということで事業を実施していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） ホッケーのほうは頑張っていたきたいんですけど、もう一点、お答えしづらいかもしれませんが、シーガルズの関係で、今、岡山市のほうが新アリーナを造りたいよというふうなことがニュースで時々出てくるんですけど、そうなった場合に、赤磐市とシーガルズの関係っていいですか……。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、それは決まったわけでもないんですから、そういう発言は控えていただけますか。

○委員（安藤利博君） 分かりました。

○委員長（松田 勲君） 今回、当初予算ですので、あくまでも、よろしくお願いいたします。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 生涯スポーツの推進費ということでここに上がってんですけども……。

○委員長（松田 勲君） ページをお願いします。

○委員（保田 守君） 説明資料134ページ。

コロナでいろんなスポーツが今まで3年間中止、私もバレーとか野球とかいろいろやっとなんですけど、いろんなスポーツが中止になってる中で、ここで状態が少し変わってきとんで、今後の運営というんですか、スポーツの推進に係るというんですかね、この予算ではあれなんかなあと、コロナ前と同じようにいろんな運営をすれば、お金がもう少しかかるんじゃないかと思うんですけども、その辺はどのようにお考えなんですか。

○委員長（松田 勲君） 全体的な予算についてですか。

○委員（保田 守君） はい。

○社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

○社会教育課長（西崎雅彦君） ありがとうございます。

生涯スポーツ推進費につきましては、身近な生活の場にスポーツを取り入れて、市民一人一人が体力向上それから健康、こういったことに取り組んでいただきたいと思います。令和4年度におきましても、チャレンジデーですとかスポレクフェステ、こういったものも規模が少し縮小でございましたが開催できております。令和5年度につきましても、各種スポーツ大会それから教室、こういった形で開催をしていきたいと思ひまして、令和5年度は計上させていただきます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで教育委員会所管部分の質疑を終わります。

ここで、11時15分まで休憩いたします。よろしくお願いします。

午前11時6分 休憩

午前11時15分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、休憩前に引き続き会議を行います。

続きまして、議第19号令和5年度赤磐市一般会計予算の市民生活部、保健福祉部所管部分について審査を行います。

執行部から補足説明がありましたら部ごとをお願いします。

説明は、予算書及び説明資料のページ番号を必ず言うてから行うようをお願いします。

なお、4款衛生費、2項清掃費の県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金また浄化槽整備事業補助金と3項上水道費は、産業建設常任委員会の所管でございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、説明をお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） それでは、議第19号につきまして補足説明をさせていただきます。

市民課、協働推進課については、経常的経費でございます。新規事業などはなく、歳入歳出ともに補足説明はございません。

環境課についてでございます。

予算書の7ページ、「第2表債務負担行為」です。

これは、環境センター運転管理業務委託、ごみ収集等業務委託で、令和5年度末で現在の契約が満了となります。令和6年4月1日より業務を継続するために、令和5年度第4四半期

早々には業者を決定する必要があることから、債務負担行為を行うものでございます。期間、限度額は記載のとおりであります。

続いて、歳出。

予算書の130ページ、予算説明資料74ページ。

4款1項3目環境衛生費、環境衛生対策事業です。13節、一番下の段、地区清掃土砂回収委託料300万円、これは地区町内会が行う道路側溝、用排水路などの清掃活動で発生した土砂ですが、従前は各地区に処分を委ねていました。しかし、土砂を処分する場所が困難になっていることから、旧町単位で設けた集積場所まで各地区で搬入をしていただき、その後、市が処分をするもので、自治連から要望を受け、令和5年度より新規で行うものでございます。

次に、4款2項2目塵芥処理費、11節修繕料1億7,923万2,000円、環境センターの施設修繕料です。環境センターは、平成26年4月供用から9年が経過し、今までに炉壁などの消耗する部分については計画的に修繕を行っているところですが、10年の節目を迎えるに当たり、耐用年数超過箇所などの修繕を行うものでございます。主な修繕箇所といたしましては、焼却設備、ガス冷却設備、排ガス処理設備、通風設備、灰出し設備などを予定いたしております。同款同項同目13節委託料、測量設計委託料369万6,000円、予算説明資料の78ページでございます、ごみ処理施設整備事業。これは、ごみ処理施設の整備に際し、今年度進めておりました基本構想、これの熟度をさらにアップさせるため、雨水放流先である排水路、河川の流下能力、これらを把握するために、縦横断測量を行うものでございます。

補足説明は以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続けて説明をお願いします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） それでは、議第19号令和5年度一般会計の保健福祉部関係事業について補足説明をします。

初めに、予算書7ページを御覧ください。

健康増進課の案件になりますが、集団けんしん事業を債務負担行為で8,650万円計上しております。この事業につきましては、5年間、集団健診を赤磐市で行っていただくことが可能な検診事業者を選定し、実施していくものです。

ここからは、社会福祉課の事業から順に、新規事業、重点事業等を説明させていただきます。

歳入、予算書54ページ、説明資料は26ページになります。

23款市債、1項8目過疎対策事業債は、吉井川荘の空調設備等大規模改修工事に係る負担金2,710万円があります。

この事業の歳出につきましては、予算書104ページ、説明資料は54ページになります。

3 款民生費、1 項 3 目高齢者福祉費、19 節負担金、補助及び交付金に柵原吉井特別養護老人ホーム組合負担金5,878万8,000円を計上しており、このうち5,422万8,000円が改修工事事業となります。エアコンやナースコール設備などの改修費が主なものです。

続きまして、歳出予算書106ページ、説明資料は56ページです。

3 款民生費、1 項 4 目障害者福祉費、13 節委託料です。計画調査委託料は、赤磐市第 4 期障害者計画や第 7 期障害者福祉計画、第 3 期障害児福祉計画策定業務委託料587万1,000円があります。次年度は障害者計画作成の年になっておりますので、ここで予算を取らせていただいております。

子育て支援課の事業に移ります。

歳出、予算書114ページ、説明資料は62ページです。

3 款民生費、2 項 1 目児童福祉総務費の中に、子育て世代包括支援センター事業があり、その中には、今年 3 月から開始した子ども家庭総合支援拠点の運営も含めた予算を計上しております。

健康増進課の衛生費のほうに移りたいと思います。

歳出は、予算書128ページ、説明資料72ページです。

一般管理費に自殺対策計画策定委託料295万4,000円があります。計画を作成して 5 年が経過しましたので、ここで見直しを行うものです。また、同じページになりますが、昨年度12月補正予算において御承認いただきました令和 5 年度分の出産・子育て応援金1,500万円を計上しております。ほかには、継続事業として、健康ポイントシステム導入委託料775万8,000円があります。

最後に、説明資料の72ページ、006健康増進事業に、後期高齢者を対象に長寿・健康増進等事業を初めて実施いたします。後期高齢者健診を受けた人の中から低栄養リスクのある人を抽出し、要介護状態にならないよう予防支援を行います。この事業は、全額、後期高齢者医療制度、長寿・健康増進等事業費補助金で対応していくもので、34万6,000円を計上しております。

保健福祉部からは以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

それでは、これから質疑を受けたいと思います。

まず、予算書の 7 ページ、「第 2 表債務負担行為」について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、続いて歳出の款ごとに進行させていただきたいと思っております。

なお、歳入につきましては、歳出との関連部分で質疑をしていただければと思います。

まず、昨日にちょっと触れましたけど、2款総務費、3項戸籍住民基本台帳費について質疑を受けたいと思います。

予算書の90ページから93ページです。予算説明資料は、46ページから49ページでございます。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に3款民生費について質疑を受けたいと思います。

予算書の98ページから125ページの間です。予算説明資料は、50ページから71ページです。

質疑はございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） そのものずばりのところをよう見つけなかったんで申し訳ないんですけど、説明資料で64ページの中に児童福祉施設運営事業があって、山陽児童館という言葉がここへも、事業概要のところに出てくるので質問をさせていただきたいと思いますが、何年も前に児童館のエアコンということをお聞きして、多分、特に山陽児童館のエアコン設置をというお話は聞かれてると思うんですけど、まず現状はどうなっているんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 現状とおっしゃいますと、どう説明していいのか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） いわゆるホールのようなお部屋にエアコンがついていないということは何年か前にお聞きをして、ここ3年ほどはコロナあまり人も来られてなかったのでもまあまあかなあと、もしついてないとしても。ですけど、多分、コロナ明けということで、今まで外に出られなかった方が来られるのではなかろうかという推察と、スクールバス等での熱射病等による悲しい事件、事故が起こったりもしておりますので、それを未然に防ぐという意味でも、現状とこの予算の中にそういったものは何となく見つからないのかなというふうには思うんですけど、いかがでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 一番大きなホールの現状としては、エアコンは数年前につけたほうがいいのかという御意見をいただいていることは分かっておりますが、実

際、現状としてはついておりません。

おっしゃるとおり、コロナでここ数年、大変利用が、1日7家族というふうに絞ってありましたので、暑い時期はそのホールを使わずに過ごすということができておりました。またここから少しずつ人数制限も緩和して、多くの皆さんに利用していただける施設にしていきたいなと考えてはおりますが、予算の御説明としては、この65ページのところにエアコンの改修費というのは計上をしていないという状況になっております。

その理由を、数年前から引き継いでいる理由を御説明させていただきますと、児童館が大変古い施設であって、電気設備そのものも大変古い中で、あの大きな天井高もあるホールになりまして、相当の容量のエアコンをつけるには1,000万円以上のお金が必要だというような試算が出ております。大規模な改修になるということで、令和5年度の当初予算には現状維持の予算のみしか計上しておりませんので、エアコンの計上はしていません。

以上で答弁、よろしいでしょうか。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 同僚議員の中にも児童館の運営委員ということで議会代表で行かれた方も何人かおられると思いますけども、事情は多分キュービクルの容量というのはお聞きしたような気がするんですが、先ほどの繰り返しになりますが、悲しい事件、事故があってからでは、特に小さなお子様の命に関わることだったりもしますので、その辺は早急に対応を御検討をいただけたらと思います。

○委員長（松田 勲君） それ以上はあれですね。

返答できますか。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 児童館の職員からもそのような要望は出ておりまして、今後、検討のほうはさせていただきます。ありがとうございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 予算説明書60ページですけれども、児童福祉費全体の部分でお尋ねしたいと思うんですが、総括して、例えば子育てするならあかいわ市とか、政府の子育て支援拡充策が非常に叫ばれております。そうした状況であるんですけれども、令和5年度の予算を

児童福祉費で見ますと、ほぼ金額的には変わりがないかなあというふうに思うんです。若干、子育て支援事業については、600万円近くの増額がされております。その他の部分については前年度とあまり変わらないのかなという状況の中で、赤磐市の新規事業は特にこれだという赤磐市の売りというものが何かあるのか、そのあたりはどのようにお考えか、お答えをいただければと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 令和5年度の予算計上事業といたしましては、例年同様の事業をベースに計上させていただいております。ただ、この中で、先ほど部長のほうで御説明申し上げましたように、子育て支援の拠点ができまして、職員、正職員もそうですが、少し増員をして、相談支援事業を、健康増進課ともしっかり連絡を、連携を取りながら、事業の中身の充実というのは心がけて進めているところです。

皆さん御承知のとおり、こども家庭庁ができることになりましたが、その予算のつき方、概要というのがまだはっきり見えていない、今どんどんと資料が来ているところです。児童手当ですとか、そういった大きな予算が動く可能性ももちろんございまして、そういった情報についてはしっかりキャッチをして、後れを取らないようにまた補正予算等で対応のほうはしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 説明資料の66ページの黒本保育園が上がったんですが、これはどういうことでこういうことになっただけでしょうか。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） どういうことでとおっしゃいますと……。

休園を……。

○委員長（松田 勲君） ちょっと待ってください。

下山委員、もう少し具体的に。

○委員（下山哲司君） 今しゃべりかけようられた。

○委員長（松田 勲君） 大丈夫ですか。答弁できますか。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） どういったことでこのような減額になっているのかという捉え方でしょうか、それともこれだけどうして金額が要るのかということでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 再度質問をお願いします。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 恐れ入ります。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 休園状態じゃからお金をかける必要がないんじゃないかという考え方で聞いたんですけど。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） ここの予算は、休園中、どうしてもかかる維持管理経費ということで計上をさせていただいてます。令和4年6月補正のときに改めて園長等と相談をしまして、人件費や継続経費の中でも、これは止めようということができるものに関しては実際に落としていくという作業をしまして、その後も清掃等も入ったりしておりますが、例えば水道などは定期的に掃除も行っておりますので、そういうどうしても必要な維持管理経費ということで御理解をお願いできればと思います。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 年度替わりに当たって、今後どうするのかということが決定しとるからこういうことをするんか、それともまだ再園するから維持管理をするのか、その辺の説明をきちっとしていただかんと、もうやらのならお金をかける必要はないんで、じゃからその辺をはっきり説明してください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 休園に当たりましては、令和4年度から当面3年間で様子を見て、また皆さんにお諮りするというような御説明をさせていただいています。ですので、令和5年度はまだ方向性をはっきり決めておりませんので、維持管理はさせていただきたいと考えております。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 私は、地元じゃから、ずっといろんなことを聞かれたりするんで、答

えようがねえから、聞いとかにゃいけんと思うて聞きょんじゃけど、今までの状況下の中では、私個人としては状況に合わせての考え方しかないんで、再園するということだったら大金がかかるんで、どうかなあという濁した返事しかできんからそういう返事をしとんどすけど、その辺をきちっとしといてもらわんと、ええかげんなことを言よったなと言われるようになったら間へ入って立場上困るんで、じゃから年度が替わるんじやったら、再園はないならないできちっとしてもろうとくほうが、今の状況を私から見たら、恐らく99%再園はないというふうに思っとります。

地元の方ももう仕方がなかろうと、こういう考え方で認識を持てくださっとるようなんので、そういうときにはきちっと、今の際のときにきちっとしたことをせんと、こんな中途半端なことをしようと、ほんならまたやってくれるんかなというような認識にとられるんで、その辺をきちっと答弁してえてもらわんと、今の答弁だったらまだ再園があるように聞こえるんで、そう思われませんか、誰が聞いても。

じゃから、そういうことじやったら困るんですよ、地元としては。じゃから、もうやらないんならやらないという、会議にきちっとかけてやってえてもらわんと、もう今が年度、あれなんじゃから、今のこの状況で判断をせられたら、再園はあるんじやなとしか思えんよ、お金をかけるということは。もう全くゼロ円になつとったら、もう覚悟しとかにゃいけんのんじやなというふうに、今の認識で思ってもろうとる中でそういうふうにしてえてもらわんと、中途半端なことをせられると間に入って困るんじやけど、その辺の答弁をください。

○子育て支援課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） これは、今答弁できますか。大丈夫ですか。

和田課長が答弁でよろしいですか。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 下山委員、ありがとうございます。

地元の方とまだしっかりと話しできてないのが現状ですが、今、子育て支援課のほうで地域の子供の様子やいろんな情報を精査しているところです。そういった中で、令和5年度は休園ということで、それも令和4年度のときにばたばたと休園したような状況、下山委員にも御相談をさせていただいてるんですが、そういった状況の中で、3年間でいろいろ考えをまとめますというようなことも市民の方に説明をさせていただいておりますので、まだ休園して1年しかたたないんで、そういった状況をしっかり令和5年度は精査してまいりたいと思いますので、その際は議員の皆様にも御協力をいただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（下山哲司君）　そういう認識であります。

○委員長（松田　勲君）　他にございませんか。

　　鼻岡委員。

○委員（鼻岡美保君）　さっきの黒本保育園のことなんですけど、周匝保育園と黒本保育園の予算を合わせたら前年と同じぐらいになるんですが、予算を減らすという目的で2園を1園にしたのではないかと思うんですが、別に予算を減らしてくれと言ってるわけではないんですけど、その辺の予算の関係について説明をお願いします。

○委員長（松田　勲君）　すいません。質問がよく分からない。もう少しはっきり要点を言ってください。

○委員（鼻岡美保君）　すみません。

　　周匝保育園と黒本保育園が合併してるんだけど、黒本保育園の管理費があるということで、前年度の周匝と黒本の合算と今年度予算の両園の合算が大体同額ぐらいになるんですけど、予算が減るのかと思ったらあまり減ってない、その事情がどうなのかを知りたいんですが、お願いします。

○委員長（松田　勲君）　答弁できますか。

○子育て支援課長（和田美紀子君）　委員長。

○委員長（松田　勲君）　和田子育て支援課長。

○子育て支援課長（和田美紀子君）　周匝保育園と黒本保育園の2園を維持していく予算を、令和4年度もそうですが、令和5年度に計上しようとしたとしますと、黒本保育園には大変な修繕費が必要な状況の老朽化といいますか、そういう状況になっております。園児の数は、1つの園にしますので、ほぼ同じ人数が周匝保育園に入りますので、人件費等をそこに集中させているということで予算は組んでおりますが、そういう意味で、施設にかかる修繕費は別にかかることを抑えているということを御理解いただければと思います。

○委員長（松田　勲君）　鼻岡委員、よろしいですか。

○委員（鼻岡美保君）　はい、分かりました。

○委員長（松田　勲君）　他にございませんか。

○委員（安藤利博君）　委員長。

○委員長（松田　勲君）　安藤委員。

○委員（安藤利博君）　説明資料の52ページの民生委員の件なんですけど、昨年、民生委員が交代、12月から替わられてるんですけど、この民生委員推薦会委員報酬があるんですけど、具体的に今から今年、来年あたりはすることがないんじゃないかなと思うんですけど、それと、それは失礼な言い方、取り消しますけど、補助金で900万円ほど出てますけど、民生委員は基本的には無報酬ということだと思うんですけど、これは具体的にはどういった金額になるんでしょうか、教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田社会福祉課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 1点、民生委員推薦会の委員報酬を計上しておりますけども、通常大きな推薦会としましては3年に1度の交代時期ですけども、間の年度におきまして、いろんな理由によりまして民生委員が交代される場合があります。その交代される場合に備えての推薦会の委員費用と御理解ください。

それから、民生委員には、報酬のほうを支払われておりませんが、その代わりとして、今御覧いただいているところで、活動費というのが支払われております。県のほうから1人当たり6万200円と、あと市費で上乗せとしまして1人当たり1万1,000円、合計で7万1,200円を活動補助金としてお支払いするように要求させていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 市内全域でこれは122人ということなんですけど、推薦を町内会、区長をお願いしていると思うんですけど、赤磐市の区は全部で132あると思うんです。これでいけば、要するに一つの区じゃなくて、複数の区を担当されている民生委員、児童委員さんがおられるということになると思います。

それと、難しい話なんですけど、一応この民生委員の配置基準としては、10万人以下の都市では120から280世帯ごとに民生委員を置くというふうになってるんです。小さい区域はそれ以下であるから問題ないと思うんですけど、要するに桜が丘とか山陽団地、戸数が多い地区については、1人の民生委員が500世帯ぐらい担当してる格好になるんです。だから、この配置基準の倍ぐらいの世帯を担当されると、今から高齢者の方が増えてくるんで大変だと思うんですけど、その辺の、難しい話なんですけど、見直しというか、この配置基準に沿った形でのお願いをするというふうなことは今後検討されないのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田社会福祉課長。

○社会福祉課長（原田光治君） その地区数と民生委員の数が合わないという点につきましては、細かい経緯につきましては不明点もありますが、旧町ごとの単位で今の人数になっております。ですから、複数区で一人のところと、逆に一つの地区で二人というところもございます。そういった合計の人数が、今この主任児童委員も含めまして122人という人数となっております。

あと、配置基準のほう、国が一応参考までにということで提示してる配置基準があるんですけども、民生委員の人数を増やしてはどうかということで御要望を受けまして、うちは事務局を持っておりますので、民生委員の役員会等で議論していただいたことはございます。その中では、今のところですけども、増員するというような結論には至っておりません。増員した場合に、複数人また継続的に選出できるのかといった点もございまして、現状そうなっております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に4款衛生費について質疑を受けたいと思います。

予算書の124ページから139ページ、予算説明資料は70ページから79ページです。

なお、先ほども申し上げましたが、2項清掃費の浄化槽整備事業補助金と3項の上水道費は産業建設常任委員会の所管でございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、質疑ありませんか。

はい、大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明書のほうで74ページ、国保診療勘定繰出金が増額になっているんですけども、この増額の要因の主なものを教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○熊山診療所参事（川原達也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 川原熊山診療所参事。

○熊山診療所参事（川原達也君） 今お尋ねの件ですが、繰出金、これは熊山診療施設勘定と佐伯北診療施設勘定の2つがございます。今回、この令和5年度の予算につきましては、佐伯北診療所施設勘定のほうが若干予算が増えております。この原因につきましては、まず一番大きいのは公債費、過疎債の支払いの元金が増えてきましたので、その計上をしております。それから、佐伯北診療所のほうに医師を1人増員ということで、人件費のほうを計上して、それが増えている、それが主な要因でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 大口委員、よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 同じく74ページなんですけど、感染症予防事業の金額が大幅に減っているのは、いわゆるこれはコロナ関連ということでの理解でよろしいんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 石原健康増進課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員おっしゃるとおりで、コロナ禍には予防費としては乳幼児の予防接種また高齢者のインフルエンザとか肺炎球菌、それとコロナ予防接種が予防費として入っていたんですが、この令和5年度につきましては、国の方針がこの3月31日までを特例臨時接種というふうに期間を決めておりましたので、その方針を基にした計上なので、大幅な減額となっております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の72ページの健康ポイント事業なんですけど、この中身を教えていただきたいのと、それからシステム導入委託料という形になってるんですが、これは令和4年度にも770万円ぐらいあったと思うんですけど、これはこの事業には、こういったシステム導入の委託料というのが毎年発生してくるものなんでしょうか。その点、先ほどのその事業の内容をまた教えていただければと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 石原健康増進課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） この健康ポイント事業は、個人の健康づくりを支援するために、特に健康無関心層といいますか、若い人の健康づくりを主に目指して、行動変容を効果的に促進していくことを目的に行っている事業です。

この委託料なんですけど、令和5年度で3年目になりますが、対象者を初年度は100人、この令和4年度は200人、それから令和5年度は300人と対象者を増やしていることが一つ要因となります。あとは、システム等の使用料が月々発生をどうしてもしますので、そのあたりでこのあまり変わらない予算額となっておりますが、今年度までは国のほうの補助金をいただきまして、2分の1の補助が出ております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、よろしいか。

○委員（安藤利博君） システムが要るというのは分かったんですけど、その中身をもう少し具体的に教えていただけませんか。その無関心な層にということですが、具体的にどういったことをされるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁できますか。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 石原健康増進課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） まず、歩くことを重点に置きまして、1日何歩歩いたらポイントが何点つきますということと、あと市が行います健康に関するイベントに参加をしたら何ポイント、それから健診等を受診したら何ポイントというものが、健康ポイントの設定内容です。それでよろしかったでしょうか。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今の健康ポイントのことについてお尋ねをするんですけど、私自身の認識も含めて、市民の方の認知度っていうのは私は大変少ないのかなあと、100人、200人、300人と枠を広げていくというようなことがあるんですけど、例えば100人以上あって100人に絞るとか、200人以上あって200人に絞る方向なら楽だと思うんですけど、無理やり多分原課のほうで数字を持っていくためにいろんな苦勞をされておるのかなあと勝手な想像をするんですけど、今現在の市民からの反応っていうのはいかがなんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 石原健康増進課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 初年度100人を募集したところ、97人の参加者がありまして、取組をしていただきました。令和4年度につきましては、参加者176人、このうち令和3年度に参加した方も、78人がさらに継続して令和4年度もこの事業に参加しておられるという経緯があります。そのように、新規の申込者だけではなく、継続して健康づくりを日々の生活の中に定着していただきたいということもありますので、継続して参加ということもありとしてこの事業を展開しております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） ごみの分別収集ということで、市民の方、市民の各世帯にごみ収集の方法についてのお知らせというか、分別のチラシをお配りしてると思うんですけど、このどこに含まれるのか私も分からないんですが、その際に大災害時におけるごみの分別方法を盛り込むようなチラシを作るというふうに説明があったと記憶してるんですが、その作業はどういう状況か、分かれば教えていただきたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○環境課長（安藤伸一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤環境課長。

○環境課長（安藤伸一君） 大規模災害が起きたときの仮置場の御案内について、毎年お配りしておりますごみカレンダーの裏面に、もし災害が起きたときにこういう形で仮置場を設置しますというような図面のようなものを印刷させていただいております。これにつきまして、4月の広報の配布時に一緒にお配りさせていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 既に配ってるんですか、これから配るんですか。

○環境課長（安藤伸一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤環境課長。

○環境課長（安藤伸一君） 既に配布済みでございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） 分かりました。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の74ページの地区清掃土砂回収委託料なんですけど、これは町内会で春秋2回、地域清掃をして、そのときに土砂を側溝から揚げて、その後の処分が困ってたんですけど、これは具体的には地区で集めたやつはどこに持っていけばよろしいんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○環境課長（安藤伸一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤環境課長。

○環境課長（安藤伸一君） 土砂の排出場所についてでございますが、現在、地区町内会のほうと調整中でございます。おおむねは、山陽、赤坂、熊山、吉井、それぞれに仮置場の設置をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 場所が決まったら教えていただきたいと思うんですけど、そこに持っていくまでがまた大変なんで、例えば土のうとか、こういったやつを地区のほうに配布していただくとか、そういったことは無理でしょうか。

○環境課長（安藤伸一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤環境課長。

○環境課長（安藤伸一君） 土のうにつきましては、現在お配りすることは……。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、すいません。個人的なあれは少し控えていただきたいと思いますので、予算委員会ですから、予算に関係することを中心をお願いします。

○委員（安藤利博君） ここに上がってる回収は業者がそこから回収するやつだと思うんですけど、地区から結局そこに持っていくまでが大変なんで、その延長線で地区からその集積場所まで持っていく手段、それも配慮していただかないと……。

○委員長（松田 勲君） それも、今言われたように、各地区で今調整中ということで御理解いただきたいと思います。

○委員（安藤利博君） 今のは、だから集積場所も調整中ということなんですか。

○委員長（松田 勲君） 場所もですけど、やり方もそうだと思いますので。

安藤課長、よろしいか。

まとめてじゃあ、再度説明をお願いします。

○委員（安藤利博君） まとまるところで結構です。

○環境課長（安藤伸一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤環境課長。

○環境課長（安藤伸一君） そのあたりも含めまして現在調整中ということで御理解いただければと思いますが、4月の区長、町内会長会議に当たりましては、そのあたりのルールを決めさせていただきまして、御案内できればと考えております。よろしくお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明資料の72ページの母子保健事業が増額になってるんですが、一番理想的な答弁は、子供の数が増えましたからという答弁が一番ありがたいんですけど、そうで

はないだろうと、この場合、事業概要の一番下を書いてある出産・子育て応援交付金給付事業、これが増額の主なものという理解でよろしいのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 石原健康増進課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員おっしゃるとおりで、部長も説明したとおり、今も始まっておりますが、来年度も出産・子育て応援交付金給付のほうを行います。その増額です。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

教育委員会のほうから、先ほどの下山委員の答弁をさせていただきたいという申出がありましたので、よろしくお願いいたします。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 有馬教育次長。

○教育次長（有馬唯常君） 下山委員のほうから御質問をいただきました件について、答弁ができておりませんでしたので、お時間をいただきたいと思います。

吉井中学校プールの利用状況についてお尋ねをいただきました。

令和4年度の使用実績で申し上げますと、使用日数が16日、利用生徒数が約160名でございます。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（下山哲司君） ありがとうございました。

○委員長（松田 勲君） それでは、ここで、1時まで休憩いたします。よろしくお願いいたします。

午後0時2分 休憩

午後1時0分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、休憩前に引き続き会議を行います。

議第20号令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計予算について、ただいまより審査を行います。

予算説明資料は、148ページからです。

執行部からの補足説明がありましたらお願いします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 議第20号につきまして、事業勘定、熊山診療施設勘定、佐伯北・是里診療施設勘定、3勘定ともに、本会議場で細部説明のとおり、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑は勘定ごとに受けたいと思います。

まず、事業勘定について質疑を受けたいと思います。

予算書の国2ページから国44ページ、予算説明資料は148ページから153ページでございます。

質疑ありますか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 説明資料の152ページになりますか。国のほうで新型コロナウイルスが5月8日から5類に変更されるというふうな報道もあります。その中で、傷病手当金15万円、金額的には非常に少ないんですけども、新型コロナウイルスで仕事を休んだ被用者に対し給付するということで予算計上されてますけれども、5類に変更した後の対応といいますか、これはどういうふうになるのでしょうか、教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 稲生市民課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） それでは、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の傷病手当についてお答えします。

国のほうからの通知におきましても、5月7日までの期間に感染した者に対しての傷病手当の助成をするという通知が来ておりますので、5月8日以降にかかった方に対しての傷病手当については、国の助成がなくなるということで、国保のほうでの助成もなくなるということになります。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい、対象外ということですね、結構です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

ありませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） それでは、質疑を終わります。

なければ、次に熊山診療施設勘定について質疑を受けたいと思います。

予算書の国46ページから国69ページ、説明資料は154ページから155ページです。

質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に佐伯北・是里診療施設勘定について質疑を受けたいと思います。

予算書の国72ページから国99ページ、予算説明資料は156ページから157ページです。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第21号令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算について審査を行います。

予算説明資料は、158ページからです。

執行部からの説明がございしますか。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 議第21号につきましても、本会議場で細部説明のとおり、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 執行部の説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑ありますか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 後期高齢者の予算なんですけれども、説明資料158ページで、被保険者数が7,811人ということ、これは令和4年10月末現在で、それで保険料が前年度と比較して8,033万円の増ということになってます。これは、本当に高齢者が増えてるということの裏返しだと思うんですけれども、団塊の世代が75歳を迎えます。こういう介護保険も同じことが言えると思うんですけれども、後期高齢者医療の事業運営が本当に大丈夫なんだろうということをお聞きしたいんですけれども、現実には高齢者はますます増えるという状況の中で、特に

その対応策といいますか、考えておられるのかどうか、考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 稲生市民課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 確かに後期高齢者への国保から75歳になられて、かなり増えておる状況であります。後期高齢者の医療につきましては、県全体で広域連合のほうが管理しておりますので、そのあたりは、市も含めてですが、考えていってるところでございます。ただ、医療費がかかると市の負担も増えてきますので、今後につきましては、市民課だけではなく、健康増進課や介護保険課の介護予防等とも連携いたしまして、医療費が少しでも抑えられるような対策をしていかなければならないとは思っております。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） それはしょうがないですね。はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第22号令和5年度赤磐市介護保険特別会計について審査を行います。

予算説明資料は、次のページの160ページからです。

執行部のほうから補足説明ございましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 議第22号につきましても、議場で御説明したとおりで、補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

質疑を受けたいと思います。

質疑ありませんか。

佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 介護保険料がアップするというようなことを聞いたような気がするんですが、介護保険料のアップというのは予定されてますか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 令和5年度につきましては、今第8期の事業計画に基づいて運営しておりますので、平均の方が5,900円お支払いを毎月していただいているんですけど、変わりはありません。ただ、今回も予算を取らせていただいているんですが、今度9期の計画に突入しております。その9期の計画をする中で、保険料がどうなっていくのかということは、向こう3年間、令和6年度から3年間の保険料を決定していきますので、そのときにまたしっかり来年度、精査していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第23号令和5年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算について審査を行います。

予算説明資料は、170ページからです。

執行部からの補足説明ございましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 訪問看護ステーション事業特別会計の予算につきましても、議場で御説明したとおりで、補足説明はございません。よろしく願います。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 総額の部分でお聞きするんですけど、いわゆるサービス収入の減額を見込んでおられるということで、よそのほうで聞いた部分でいえば、リクエストがあっても、人手が足りないのでサービスが100%できないというようなこともお聞きをしとるんですけども、赤磐市のこの訪問看護ステーション事業特別会計の中でも、そういったことも含んでのこういう予算立てということになっているんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○熊山診療所参事（川原達也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 川原熊山診療所参事。

○熊山診療所参事（川原達也君） 今のお尋ねの件ですけど、この予算につきましては、確かに収入とかは減額しております。これの主な理由としましては、利用者の方の数を令和4年度の当初のときは51人を見込んでたんですが、この令和5年度につきましては44人で見込んでおります。このコロナ禍のこともありまして、利用を渋られるという方もおられたり、それから職員のマンパワー、こちらのほうも看護師が実際感染されたりとかということで、シフト的なことをやりくりするのが難くなったということもありました。今後、状況がどうなるか、今はちょっと落ち着いてはいるんですけど、このまま上向きになればいいんですけど、上向きにならなかった場合を想定させてもらって、この令和5年度の予算を計上しております。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今の御答弁、ちょっと理解しにくい部分があったんですけど、高齢社会に向かっては需要は増えていくというふうに単純に思ってるんですけど、人手の部分やら何やらで対応ができないからということも説明の中であって、方向的にはこの訪問看護ステーション事業っていうのは今後はどうのように見込んでおられるんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○熊山診療所参事（川原達也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 川原熊山診療所参事。

○熊山診療所参事（川原達也君） 今後の見込みとしましては、ニーズがあれば、それにはできるだけ対応していきたいと思っております。実際は、赤磐市の訪問看護がカバーするのが、民間があまり手が出せないようなところとか、山の中であるとか、そういったところが主になってきますので、そこら辺を加味しながらやっていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

これをもちまして厚生文教常任委員会所管関係について審査を終わります。ありがとうございました。

お諮りします。

本日はこれをもって打ち切り、閉会したいと思います。これに異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） 異議なしと認めます。したがって、本日は閉会することに決定いたしました。

次の委員会は、明日の３月14日火曜日午前10時に開きます。

本日はこれをもって閉会といたします。

お疲れさまでした。

午後 1 時15分 閉会